

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年01月22日

計画の名称	小林市における『循環のみち下水道』の持続と進化（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	小林市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の使命、機能およびサービスの目標水準を適正なマネジメントにより「持続」させることを目指す。 ・下水道が有する汚水の収集・処理・雨水の排除といった機能を平常時はもとより、大規模災害時においても強くしなやかに発揮し、持続的に提供することを目指す。 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	210	A	210	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30末	R04末	R06末
1	施設地震対策実施率を0%（H30）から100%（R06）に増加させる。 重要な下水処理施設における地震対策実施率 耐震性能が確保されている施設数／重要な下水処理施設数	0%	100%	100%
2	下水道による浸水対策実施率を0%（H30）から100%（R06）に増加させる。 下水道による都市浸水対策実施率 浸水対策実施済み路線内箇所数（箇所）／浸水対策を実施すべき路線内箇所数（箇所）	0%	33%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	小林市	直接	小林市	終末処 理場	改築	小林浄化センター耐震対 策	処理場	小林市	■					60		策定済
	地震																		
	A07-002	下水道	一般	小林市	直接	小林市	管渠（ 雨水）	新設	仲町地区雨水対策事業	雨水対策箇所数 3箇所(L=10 0m)	小林市		■	■	■		150		—
											小計						210		
											合計						210		

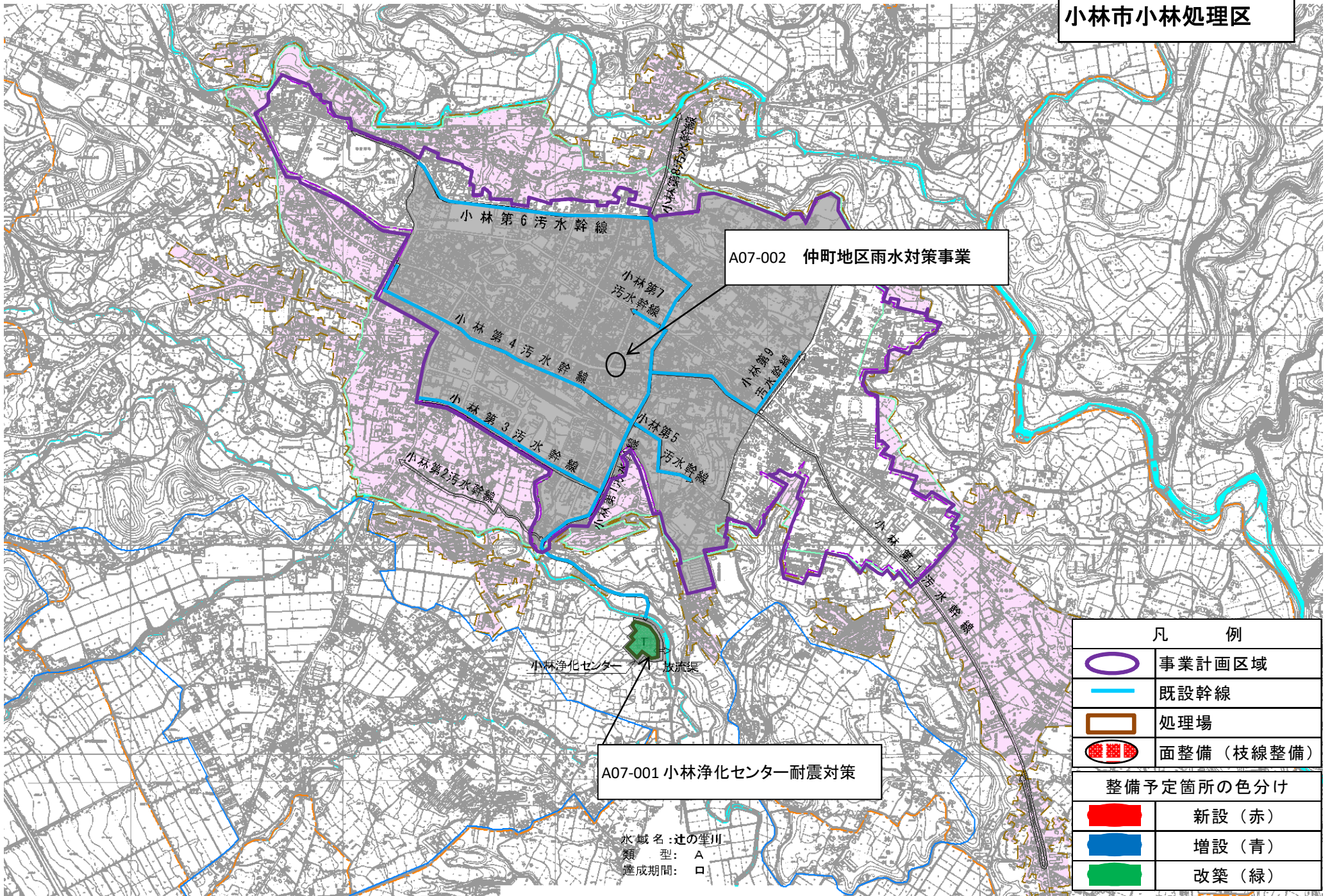
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R2	R3			
配分額 (a)	30.000	5.000			
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000			
交付額 (c=a+b)	30.000				
前年度からの繰越額 (d)	0.000				
支払済額 (e)	0.000				
翌年度繰越額 (f)	30.000				
うち未契約繰越額 (g)	0.000				
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

計画の名称	小林市における『循環のみち』の持続と進化（防災・安全）（重点計画）		
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）	交付対象	小林市

小林市小林処理区



A07-002 仲町地区雨水対策事業

A07-001 小林浄化センター耐震対策

凡 例	
	事業計画区域
	既設幹線
	処理場
	面整備（枝線整備）
整備予定箇所の色分け	
	新設（赤）
	増設（青）
	改築（緑）

水 域 名 : 辻の堂川
 類 型 : A
 達成期間 : □

事前評価チェックシート

計画の名称： 小林市における『循環のみち下水道』の持続と進化（防災・安全）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○